

令和2年度 川根中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

	実施方針	目標	具体的な取り組み
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援体制を整えます。	①川根地区見守りネットワーク連絡会：年1回 ②民生委員と包括の情報交換会：年1回 ③民生委員児童委員協議会定例会：月1回 地域の見守りネットワーク体制を構築するため、協力事業所や民生委員等との連携を強化する。
			①継続支援：7ヶ所（月1回、支援に出向く） ②しまとれ体験会の開催：1ヶ所（老人会のない地区）⇒新規立ち上げにつなげていく しまとれの継続支援と普及活動を行う。
		地域住民が主体的に介護予防に取り組めるよう支援します。	①地域活動が少ない地区へ出向き、住民が取り組める介護予防について検討する。 ②老人会や居場所等で介護予防普及啓発講座を開催する。 ③身成地区懇談会：年1回
		次世代の担い手を育成します。	①小中学生向け認知症サポーター養成講座：各1回 ②小学生と高齢者の交流会：年2回 ③中学生と高齢者の交流会：年1回、数ヶ所で実施 ④生活支援をつなぐ会：年2回（具体的な取り組みの検討） 生活支援コーディネーターやコミュニティスクールディレクターと連携し、学生が高齢者について学び、交流できる機会をつくる。
	認知症施策の推進	①認知症に対する正しい知識と対応方法を学ぶ機会をつくる。 ②認知症キャラバンメイトや認知症サポーターと連携し、地域での取り組みを検討していく。 ③医療機関・ケアマネジャーと連携し、認知症患者と介護者が相談や交流ができる機会をつくる。	①認知症サポーター養成講座：年5回 ②認知症キャラバンメイト連絡会：年1回 ⇒チームオレンジの立ち上げに協力を得る ③認知症カフェ・介護者のつどい：月1回
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	①地域包括ケアシステムの構築に向けて、多職種・多機関との連携に努めます。 ②医療・介護従事者や関係団体と連携して高齢者支援が行えるよう連絡会を開催する。	①川根地区医療・介護多職種連携連絡会：年2回 テーマ：①認知症 ②薬 参加団体：医療機関(4)、調剤薬局(3)、製薬会社(1)、整骨院治療院(2)、居宅介護支援事業所(3)、通所介護事業所(4)、訪問介護事業所(1)、短期入所介護事業所(1)、特養(1)、小規模多機能型居宅介護(1)、グループホーム(1)
	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	①ケアマネジャーとの連携強化、適切なケアマネジメントを支援します。 ②ケアマネジャーが社会資源の多様性を学ぶ機会をつくり、高齢者の状態に応じたサービス提供ができるように支援する。	①川根地区ケアマネ連絡会：年3回（看取り、自立支援型地域ケア会議、民生委員との意見交換会） ②ケアマネジャー・地域活動団体（しまとれや居場所等）連絡会：年1回 ③居場所や老人会など地域活動の場へ参加同行：随時
	センターの認知度を高めるための周知活動	①老人会や各種団体へ高齢者あんしんセンターのチラシを配布する。 ②小学生に制作してもらったポスターを地区内に掲示する。	①居場所、老人会、高齢者学級、しまとれ実施団体、ボランティア団体など15団体 ②3月末までに地域高齢者見守りネットワーク協力事業所（商店、コンビニ、金融機関）等10ヶ所に掲示